

作成日2010年05月25日

製品安全データシート (MSDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 KOF No.8 墨
会社名 東京インキ株式会社
担当部門 開発・技術部門 技術第1部
住所 〒348-0016 埼玉県羽生市大沼2-50
電話番号 048-565-3720
FAX番号 048-565-5677
メールアドレス msdsinfo@tokyoink.co.jp
緊急連絡先 048-565-3720
推奨用途及び使用上の制限 オフセット枚葉インキ
整理番号 O F-001780-01-00

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
人健康有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	急性毒性（経皮）	区分5
	急性毒性（吸入：気体）	分類できない
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉塵／ミスト）	区分4
	皮膚腐食性／刺激性	区分3
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	区分2（肺）
	特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	区分1（肺、皮膚）
環境有害性	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

GHS要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

皮膚に接触すると有害のおそれ（経皮）
吸入すると有害（気体，蒸気，粉塵，ミスト）
軽度の皮膚刺激
眼刺激
遺伝性疾患のおそれの疑い
臓器の障害のおそれ（肺）
長期または反復暴露による臓器の障害（肺，皮膚）

注意書き

安全対策

- ・本製品安全データシートを読み理解するまで取り扱わないこと。

- ・ 炎および高温のものから遠ざけること。
- ・ 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- ・ 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・ 保護手袋を着用すること。
- ・ 必要に応じて個人用保護具を使用すること。

応急処置

- ・ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 取り扱った後、手を洗うこと。
- ・ 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。
- ・ 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
- ・ 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- ・ 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
- ・ 気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。

保管

- ・ 施錠して保管すること。

廃棄

- ・ 内容物／容器を許可を受けた廃棄物処理業者に処理委託廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

一般名： オフセット枚葉インキ

成分及び含有率：

化学名	労働安全衛生法第57条の2対象名	含有率 (%)	官報公示No. (化審法)	CAS No.	物質としての 適用法令
	化学物質排出把握管理促進法対象名				
鋳油	鋳油	15~25	—	—	1, 6, 7
	—				
カーボンブラック	カーボンブラック	15~25	5-3328	1333-86-4	1
	—				

化学物質排出把握管理促進法対象物質の含有量は15項の適用法令に記載する。

適用法令：

- 1: 労働安全衛生法（第57条の2）
- 6: 消防法
- 7: 道路法（水底トンネル、長大トンネル等における積載制限対象危険物）

4. 応急措置

- 吸入した場合：直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせ、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせ、付着部又は接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水で洗い流す。
 もし皮膚に痛みが残ったり炎症を生じた場合には医師の手当てを受ける。
- 目に入った場合：直ちに多量の水で15分以上洗い流し、眼科医の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄させ、直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：

- ・ 粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂、霧状の強化液

使ってはならない消火剤：

- ・ 特になし

特定の消火方法：

- ・ 速やかに容器を安全な場所に移す。
- ・ 移動不可能な場合には容器及び周囲に散水して冷却する。
- ・ 指定の消火剤を用いて消火する。

消火を行う者の保護：

- ・ 消火作業の際には必ず適切な保護具を着用し、風下で作業しない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

- ・ 風下の人を退避させる。
- ・ 漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。
- ・ 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
- ・ 消火作業の際には必ず保護具を着用する。
- ・ 必ず風上で作業する。
- ・ 屋内の場合には、漏出物の処理が完全に終わるまで十分に換気を行う。
- ・ 漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・ 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。
- ・ 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
- ・ 密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する注意事項：

- ・ 濃厚な洗浄廃液は河川に排出しないように注意する。

回収、中和、封じ込め及び浄化の方法・機材：

- ・ 密閉可能な空容器にできるだけ回収する。
- ・ 回収したあとを中性洗剤等の分散剤を用いて多量の水で洗い流す。
- ・ 大量の流出には土砂・盛り土等の不燃物で囲って流出を防止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

安全取扱い注意事項

- ・ 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用する。
- ・ この製品を拭き取ったウエス等は、速やかに焼却または廃棄する。
- ・ 作業衣等に付着した場合は、直ちにその汚れを落とし着替えて、汚れ部分が皮膚に長時間接触することを避ける。
- ・ 取扱い後は手洗いとうがいを十分に行う。
- ・ 火気に注意し、作業場は十分に喚起を行う。

保管：

技術的対策、混触禁止物質、容器包装材料

- ・ 容器は密栓して、換気良好な冷暗所に貯蔵する。
- ・ 指定数量以上の場合には火災予防条例に従う。
- ・ 施錠して保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度及び許容濃度：

化学物質の名称	管理濃度	ACGIH(TWA)	日本産業衛生学会(TWA)
鉛油	設定なし	5mg/m ³ (鉛油ミストとして)	3mg/m ³ (鉛油ミストとして)
カーボンブラック	2.9mg/m ³	3.5mg/m ³	第2種粉塵：(吸)1mg/m ³ , (総)4mg/m ³

* が付記されている場合は最大許容濃度を表す。

- 設備対策 : 屋内作業時は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。
 保護具 : 保護眼鏡、耐油性保護手袋、保護衣、保護長靴等を使用する。
 : 適切な呼吸器保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

製品の物理的及び化学的性質

物理的状态

- 形状 : ペースト
 色 : 墨
 臭い : 油臭
 pH : 該当しない

比重 : 1.0~1.2(25℃)
 物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲
 融点・凝固点(℃) : 情報なし
 沸点(℃) : 情報なし
 引火点(℃) : 130
 溶解性
 溶媒に対する溶解性
 水 : 難溶
 有機溶剤 : 可溶
 分解温度(℃) : 情報なし

成分の物理的及び化学的性質 :

成分の名称	沸点(℃)	比重(水=1)	水への溶解性	蒸気圧(kPa)	相対蒸気密度(空気=1)	引火点(℃)	発火温度(℃)	爆発限界 vol% (空气中)	LogPo/w (オクタノール/水分分配係数)	出典
鉱油	情報なし	情報なし	不溶	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	1~7	情報なし	1, 2, 6
カーボンブラック	4200	1.8-2.1	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	3, 5, 7

出典 :

- 1: 許容濃度等の勧告 (ACGIH)
- 2: 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
- 3: ICSC CARD
- 5: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHS分類結果データベース
- 6: 原材料の製品安全データシート
- 7: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム

10. 安全性及び反応性

安定性・危険有害反応可能性 : 空気と接触して徐々に酸化重合する。
 避けるべき条件 : 製品の乾燥皮膜及び製品を拭き取ったウエス等は堆積すると発熱し発火することがある。
 危険有害な分解生成物 : 燃焼によりCO、NOx等の有害ガスが発生する。

11. 有害性情報

製品としての有害性情報 : 製品としての情報なし

成分の有害性情報 (GHS分類結果) - 1 :

成分	急性毒性 (経口) mg/kg	急性毒性 (経皮) mg/kg	急性毒性 (吸入: 気体) ppm	急性毒性 (吸入: 蒸気) mg/l	急性毒性 (粉塵、ミスト) mg/l	皮膚腐食性・刺激性	目に対する重篤な損傷・眼刺激性
鉱油	区分外 (5000)	区分外 (5000)	分類対象外	分類できない	区分4	区分3	区分2B
カーボンブラック	区分外 (15400)	分類できない (>3)	分類対象外	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

成分の有害性情報 (GHS分類結果) - 2 :

成分	呼吸器感作性、皮膚感作性	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	吸引性呼吸器有害性
鉱油	呼吸器感作性: 分類できない 皮膚感作性: 区分外	区分2	区分外	分類できない	区分2 (肺)	区分1 (肺、皮膚)	区分1

カーボンブラック	呼吸器感作性:分類できない 皮膚感作性:分類できない	分類できない	区分2	分類できない	分類できない	区分1(肺)	分類できない
----------	-------------------------------	--------	-----	--------	--------	--------	--------

有害性情報：＜組成成分中に二酸化チタン、及びカーボンブラックを含有する場合＞二酸化チタン、及びカーボンブラックはIARCではそれぞれグループ2Bに分類されている。ただし、二酸化チタン、及びカーボンブラックを含有する印刷インキ製品の発がん性はIARCではグループ3とされている。

12. 環境影響情報

製品としての有害性情報：製品としての情報なし

成分の環境有害性情報：

成分	水生環境急性有害性	水生環境慢性有害性
鉱油	分類できない	分類できない
カーボンブラック	区分外	分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：

- ・ ドラム缶に入れ、横転しても内容物が外部へ流出しないように密栓する。
- ・ 洗浄排水は、地面や排水溝へそのまま流さない。
- ・ 焼却する場合は産業廃棄物処理基準に従って焼却する。
- ・ 許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

汚染容器及び包装：

- ・ 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
- ・ 許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

注意事項：

- ・ 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込む。
- ・ 荷くずれの防止を確実に行う。
- ・ 消防法の危険等級Ⅲに準ずる運搬容器に収納して運搬する。

国連分類：

非該当

国連番号：

非該当

国連輸送名：

非該当

指針番号：

133

15. 適用法令

- ・ 労働安全衛生法（第57条の2）（通知対象）
- ・ 火災予防条例（可燃性固体類（3,000kg以上の場合）は指定可燃物）
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

労働安全衛生法第57条の2

対象名	含有率(%)
鉱油	15~25
カーボンブラック	15~25

化学物質排出把握管理促進法

対象名	政令番号	化管法区分	含有率(%)
—	—	—	—

16. その他の情報

参考資料

- ・許容濃度等の勧告 (ACGIH)
- ・許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHS分類結果データベース
- ・原材料の製品安全データシート
- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム

本製品安全データシートに関する問合せ先

「1. 製品及び会社情報」に記載の連絡先にお問合せください。

* 本製品安全データシートの内容記載は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。

本製品を扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じてください。

尚、本製品安全データシートは安全や品質の保証書ではありません。

—以上—